

## 山中陽子 プロフィール

1962年神戸市生まれ、神戸女学院中高大学で一環した教育を受ける。

1986年より海外の映像を輸入する会社に勤務して映画買付けのノウハウを取得後独立。1989年3月にセテラ・インターナショナルを設立。自分で選び見つけてきた海外の良質の映画を配給することを目的としたが、その一つにフランスの天逝のスター俳優ジェラルド・フィリップの映画祭をしたいから、という目的があった。買付けした最初の大きなフランス映画はアラン・ドロンが主演のカヌ映画祭出品作品

『カサノヴァ 最後の恋』で、アラン・ドロンを10年ぶりに映画プロモーションのために日本に招聘。(1992年)

主なフランス映画買付け作品には

『パリのレストラン』

『そして僕は恋をする』など数作品アルノー・デプレシャン作品を買付けし、日本にも3回招聘している。

『ムッシュ・カステラの恋』(セザール賞受賞作)

『ハリー、見知らぬ友人』(セザール賞受賞作)

ドキュメンタリー映画では、『パリ ルーブル美術館の秘密』『ふたりのヌーヴェルヴァーグ

トリュフォーとゴダール』『コメディ・フランセーズ 演じられた愛』、パリ・オペラ座バレエのドキュメンタリー十数作品。

『モリエール 恋こそ喜劇』『ボーマルシェ フィガロの誕生』『女優マルキーズ』などの伝記ものや『ランジェ公爵夫人』『セザンヌと過ごした時間』などの文芸・芸術作品

全国13万人の動員で大ヒットとなったジャンヌ・モロー主演の『クロワッサンで朝食を』

『不機嫌なママにメルシィ!』(セザール賞受賞作)

『シンプルな情熱』(アニー・エルノー原作の映画化)

『ヴォイス・オブ・ラブ』(セザール賞受賞作)

フランスの国民的大ヒット作『最高の花婿』『最高の花婿 アンコール』そして続編である『最高の花婿 ファイナル』を2023年4月に公開予定

6月にはフランソワ・オゾンの新作『Peter Von Kant』を公開予定

また、フランスのクラシック映画の買付けでルネ・クレール傑作集映画祭を4Kリマスター版で公開、ジェラルド・フィリップ映画祭は1996年から数回、没後40年、生誕80年、90年など行っており、2022年11月からは生誕100年祭を全国で開催中。

ジェラルド・フィリップやルネ・クレールの書籍を数冊、国内で翻訳版の出版実現に向けて紹介している。また1997年にはアニエス・ヴァルダ監督と共同でジェラルド・フィリップ写真集出版を企画。2022年には生誕100年映画祭との関連書籍として『ジェラルド・フィリップ 最後の冬』の翻訳出版を実現させた。  
以上